

これまでの主な取組



三陸鉄道北リアス線全線運行再開 (平成26年4月)

① 防災のまちづくり

■ 災害廃棄物(がれき)の処理

約584万トン[本県一般廃棄物約13年分]の処理を終了

大震災津波により約584万トンの災害廃棄物が本県で発生しましたが、県内外の自治体の協力や、多くの関係者・住民の皆様のご理解とご支援に支えられ、平成26年3月末までにその処理を終えました。

災害廃棄物の広域処理先	
青森県	61,004ト
宮城県	4,326ト
秋田県	37,538ト
山形県	77,688ト
福島県	12,131ト
群馬県	7,673ト
埼玉県	1,109ト
東京都	106,007ト
神奈川県	162ト
新潟県	294ト
富山県	1,256ト
石川県	1,961ト
福井県	6ト
静岡県	3,207ト
大阪府	15,299ト
合計	329,661ト (1都1府13県)



宮古市赤前地区・宮古運動公園 平成23年11月撮影



同左 平成25年8月撮影

復興レポート
宮古市

■ 海岸保全施設等の復旧・整備

復興まちづくりと一体となった防潮堤・水門等の復旧・整備

被災した防潮堤等の海岸保全施設の復旧・整備に当たっては、高潮等の被害が予想される箇所について、仮防潮堤を築造する等の応急工事を実施したほか、津波、都市計画及び地震等の専門家で構成される「岩手県津波防災技術専門委員会」を設置し、各市町村から復興まちづくりの方向性を伺いながら、科学的・技術的な知見に立脚した防潮堤の高さや配置の検討を進め、平成23年10月までに本県沿岸を24の地域海岸に区分し、防潮堤等の高さを公表しています。

また、海岸保全施設の早期整備のため、事業用地の取得に当たり、任意交渉と平行した土地収用手続を進めてきたほか、工期短縮や資材不足等へ対応するため、工場製品の活用などの取組を進めてきました。

この結果、平成25年度末時点で、復旧・整備が必要な134箇所のうち、105箇所ですべて工事に着手するとともに、22箇所ですべて完了しています。

海岸堤防高さの設定 >> <http://www.pref.iwate.jp/kasensabou/kasen/fukkyuu/008326.html>

高田地区海岸の復旧工事の状況



被災前(平成22年3月)

被災直後

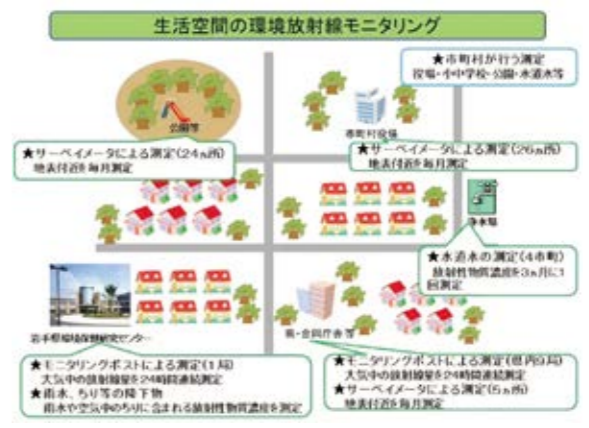
平成26年3月末

■ 環境放射能水準調査の実施

測定結果をリアルタイムで公表

生活空間の放射線量や、大気中のちり、降水(雨、雪)、水道水、農林水産物などに含まれる放射能を県内10地点で測定し、その結果をホームページで公表しています。

放射能に関する情報
>> <http://www.pref.iwate.jp/houshasen/>



サーベイメータによる測定

■ 再生可能エネルギー設備の導入支援

さらなる地域の防災力向上に向けて

地域の防災拠点となる市町村庁舎・消防署・病院や、災害時の避難所となる学校・公民館などへの太陽光発電設備、蓄電池、ソーラー街路灯などの設置を進めています。

また、避難階段への太陽光発電式防犯灯や応急仮設住宅団地内敷地への小型風力発電システムの設置など、公共施設への小規模クリーンエネルギー設備の導入を支援しています。



保育所に設置した太陽光発電設備(野田村)

庁舎屋上に設置した太陽光発電設備(洋野町)